奈良市介護予防・生活支援サービス事業 訪問型サービスの単位数について

名称	第1号訪問事業	
1回あたり 単位数	介護予防訪問介護相当サービス	
	身体介護中心型	生活援助中心型
	入浴、清拭、洗髪、部分浴、排泄、衣服の着脱、 <u>自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助</u> 等	家事の補助等 (掃除、調理、買い物、ゴミ出し等)
	【標準的な内容のサービス★】 287単位	【45分以上】 220単位
	【短時間サービス(20分未満)】 163単位	【20分以上45分未満】 179単位
	訪問型サービスA	
	主に雇用労働者(訪問介護員)が生活援助として、日常生活に対する援助を行う	
	【45分以上】 220単位	
	【20分以上45分未満】 179単位	
	訪問型サービスC	
掃除、調理、買い物などの身の回りのことができにくくなってきた高齢者を対象に、3か月から6か月の短期間、集中的に保健・医療の専門職が支援するプログラムを提供することで、可能な限り元の生活に戻ることをめざす		
【40分程度】 603単位		
1月上限 単位数	訪問介護相当サービス、訪問型サービスA、訪問型サービスCを併せて 1月あたり 3,727単位 が上限	

※第1号訪問事業のサービス提供にあたっては、ケアプランに1月あたりの回数を定めること

★「標準的な内容のサービス」の考え方について

本市における「標準的な内容のサービス」は、入浴介助や食事介助といった、いわゆる利用者の身体に直接接触して行う介助だけでなく、利用者のADL(日常生活動作)・IADL(手段的日常生活動作)・QOL(生活の質)や意欲の向上のために利用者と共に行う自立支援・重度化防止のためのサービス※を含んだ、「身体介護サービス(20分以上)」及び「身体介護(10分以上)と生活援助を組み合わせたサービス(計45分以上)」を指します。

※訪問介護サービスの分類や、「自立支援・重度化防止のための見守りの援助」の具体的なサービス内容については以下を参照してください。

➔ 「訪問介護におけるサービス行為ごとの区分等について(平成30年3月30日 老振発0330第2号)」